

2023年度 斎藤清美術館 春季企画展

斎藤清マチエールの冒険

2023.
4.22 sat
— 7.2 sun



《ヌード(5)》 1963年 紙、コラグラフ

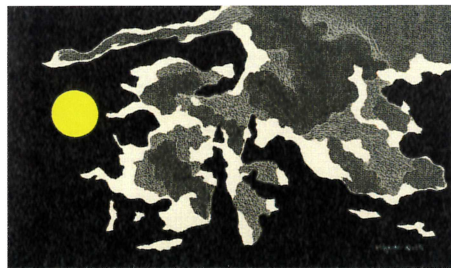
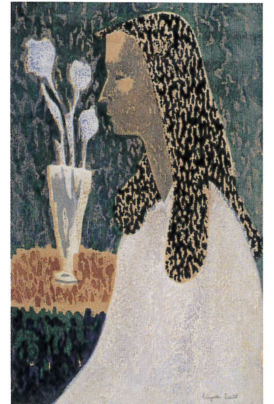
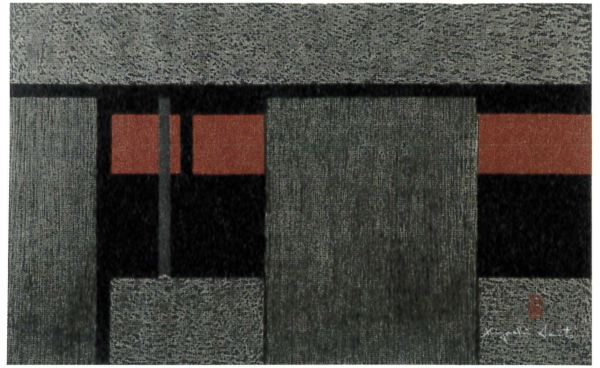
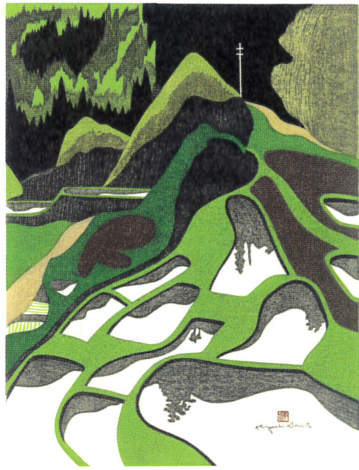
ボンドの、ぐねぐね

主催 やないづ町立斎藤清美術館

後援 福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM、エフエム会津、喜多方シティエフエム、只見川電源流域振興協議会、奥会津五町村活性化協議会、只見川ライン観光協会、極上の会津プロジェクト協議会

9:00-16:30 (入館は16:00まで)
月曜日休館 (ただし、5月1日は開館)

■観覧料 ※()内は15名以上の団体料金
一般510円(410円)
高・大学生300円(200円)
中学生以下無料



A B C
D E F
G H

A《さつきの会津(10)》1994年 紙、木版
B《本屋 セーナ パリ》1960年 紙、木版
C《京都の壁(B)》1960年 紙、木版
D《凝視(花)》1950年 紙、木版
E《地の幸(2)》1989年 紙、木版
F《白い夢》1949年 紙、木版
G《月雲(2)》1980年 紙、木版
H《競艶》1973年 紙、木版

matière [仏、マチエール]

1. 材料。素材。材質。
2. 美術で、絵画の絵肌、彫刻の質感など、作品における材質の効果。また、表現されたものの固有の材質感。

「描く」に、「彫る」・「摺る」という行為が加わり、一枚の作品を制作する過程で様々な材料や道具が介在する版画。それゆえに、多彩な材質感を内包しています。斎藤清は、版画の持つそうした特性を深く理解し、模索と挑戦を繰り返して、フォルムや構成はシンプルでありながら、複雑な様相をもあわせ持つ、独自の絵画を生み出していきました。木板をひっかきつづいた痕跡、コラグラフ版材のうねり、版画紙表面のざらざら…それぞれの材質感から、斎藤がどのようなイメージを引き出し、どのような作品へと昇華させていったのか。その豊かで独創的な造形世界へ、ご案内します。

ACTIVITY

※各イベントの参加費は無料ですが、展覧会をご覧になる場合は観覧料が必要です。
※各イベントは予約優先ですが、空きがあれば先着順で当日参加も可能です。

■企画展関連ワークショップ 「想いを託して、フロッタージュ」

写しとったカタチに込める、私の想いをあなたへ。
・講師：斎藤清美術館地域おこし協力隊
・日時：5月27日(土) 14:00~16:00
・場所：アートテラス、美術館周辺 ※雨天時はアートテラスのみ。
・対象及び定員：誰でも(未就学児は保護者同伴) 15名(要予約、先着順)

■ギャラリートーク

マチエールの妙手・斎藤清の造形世界に分け入る。
・日時：会期中の第2・第4日曜日、4月30日(日)、
5月3日(水)~5日(金)、7日(日) 14:00~(約30分)

■ミュージアム・カフェ

今春も開店! 実力派マイスターたちによる淹れたての薫り高いコーヒーを。
・日時：4~5月の土日及びゴールデンウィーク中(4月29日~5月7日)
※詳細は、HP等でご確認ください。また飲食には料金が発生します。

■斎藤清美術館アートワークショップ 「なないろ雫でふしぎなおえかき」

カラフルな水をスポイトで垂らして…
・講師：榊田 拓哉氏(「こどものにわ」代表)
・日時：5月7日(日) 14:00~15:00
・場所：アートテラス
・対象及び定員：小学生以上 15名(要予約、先着順)

■学芸員講座 いつもとちがう視点で楽しむ企画展 「マチエール×言葉」

・日時：6月17日(土) 14:00~15:30
・場所：アートテラス・第1展示室 ・定員：25名

各ワークショップの参加申込について
お申し込みは、お電話・美術館受付のほか
Googleフォームにて受け付けております。
Googleフォーム



■アクセス

■東北道→磐越道→会津坂下I.C.→
R252を只見町方面へ5km(道の駅 会津柳津内)
■東京駅(東北新幹線)→郡山駅(磐越西線)→
会津若松駅(只見線)→会津柳津駅

〒969-7201 福島県河沼郡柳津町柳津字下平乙187
TEL:0241-42-3630

Mail: bijutsu@town.yanaizu.fukushima.jp



斎藤清
美術館
KIYOSHI SAITO
MUSEUM OF ART, YANAIZU

